思いやりいっぱい みんなつながる 楠目小

４月７日、４７人のピカピカの１年生を迎え、総勢２１１名で令和３年度がスタートしました。楠目小学校は、上級生が下級生の面倒をみて、みんなのつながりが深いことが伝統です。

４月１５日には、１年生と上級生との対面式が行われ、全校児童が「早く仲よくなりたい」という思いで一つになりました！

▲１年生も元気にご挨拶。上級生から「いっしょにあそぼうね！」「なんでも聞いてね！」などの言葉が贈られました。

▲６年生は、メダルを作って１年生にプレゼントしました。

▲保護者や民生委員さんが給食のお手伝いに来てくれています。

▲縦割り班づくり。早速、春の遠足に一緒にでかけます。

これから１年間、色々な活動を通して仲よくなっていきたいです！

◆学習する時も、誰かのことを思って活動することを決めたり、全校のみんなと交流したりします。

▲１年生『ツリーハウス』に招待

▲３年生　みんなを元気にしたい『スマイル祭り』

▲6年生「ようこそ！在校水族館へ！」

◆上級生は、色々な行事でみんなが仲よくなることを目指して活動を考え、全校をリードします。

▲年長児の１日入学では、５年生一人ひとりがお世話役を担います！「やさしい」「あったかい」と評判です。

▲朝集会で『全校鬼ごっこ』。今年は、みんなでたくさん遊べますように！

▲『６年生を送る会』。縦割り班で回って、５年生が考えたたくさんのゲームで、思い出づくり！

道徳教育を学ぶ 舟入小

舟入小学校の取り組みとして、道徳教育と伝統的に続けてきている山田特別支援学校との交流学習について紹介します。

道徳教育の取組

令和２年度までの５年間、高知県教育委員会から道徳教育の研究指定を受け、研究に取り組んできました。

授業では、①自分事として考える②多面的・多角的に考えることを通して、自分の考えを持ち、友だちと議論ができるような子どもたちを育てることを目指してきました。

保護者や地域と連携した地域ぐるみの道徳教育を行ってきています。

昨年度はできませんでしたが、以前には、ゲストティーチャーとして地域の方や保護者の方をお招きして話を聞いたり、話合いに加わっていただきました。また、宿題で『家庭で取り組む高知の道徳授業』の本を活用し、保護者の皆さんにも考えていただきました。

今後も、こうした道徳教育の取り組みを続けていきます。

山田特別支援学校との交流

学年ごとに山田特別支援学校との交流を続けています。昨年度はＷＥＢ会議システムを活用して実施しました。継続した取り組みにより、障害の理解や仲間づくりが進んでいます。

令和３年度の取組

本年度は学校安全（生活安全）についての研究指定を受け、児童の安全意識の醸成に向けて、保護者・地域の方と協働しながら取り組んでいきます。

まいにちたのしい！ なかよし保育園

▲染め紙のお花畑の下で、みんなで給食を食べました

この春、なかよし保育園は１８７名の子ども達で元気いっぱいにスタートしました。

あこがれの年長組になった５歳児すみれ・ひまわり組は「いっぱいお勉強したい」と毎日やる気満々で、早速、染め紙に取り組みました。障子紙を三角に折りたたんで、角に好きな色水を染み込ませていきます。じわじわと広がっていく色や、色が混ざる様子に子ども達は、興味津々。ぎゅっと絞って紙を丁寧に広げてみると、さまざまな綺麗な色の模様ができます。「見て見てお花みたい」「黄色のちょうちょみたいになった」と驚き、次々と染めていました。染めた紙をテラスに張ったロープに干して「お花畑みたいや」と大喜びの子ども達でした。

綺麗にできた染め紙はティッシュの箱やこいのぼりの飾りに変身。小石やビー玉を入れて、輪ゴムでくくって染料で染めるしぼり染めのハンカチ作りにも挑戦し、子ども達は目を輝かせながら毎日色んな遊びに取り組んでいます。